

田原地区体育部

加盟チーム数
加盟人数
代表者 和田 行夫
創立年

田原地区の体育部は、玉越、西島、（八大）三ヶ野、明ヶ島団地、東部台、明ヶ島6地区の自治会より選出された部員により構成されている。

体育部の主な活動計画は、次のものである。

- 1 田原みんなの運動会
- 2 田原地区ソフトボール大会
同 ソフトバレーボール大会
同 インディアカ大会
- 3 田原地区ミニサッカー大会

上記の中では、地区住民が一堂に会して活動するのは、田原みんなの運動会である。

5年程前までは3世代運動会として実施していたが、現在は田原みんなの運動会として取り組んでいる。参加する人達が3世代均等に出場できかねる状況が生じていること。特に高齢者小子化の波が田原地区にも押し寄せ、人工の集中している自治会として人口の減少している自治会との差が大きくなり、競技種目ができなくなりつつある。地区によっては、運動会を廃止しだした所もあるようだが、年1回の催事は大切に、住民の絆づくりを大切にしようと考え、種目や開催時間等を工夫しながら取り組んでいる。特記すべきは、毎年中学生がボランティアとして、各係について取り組んでいることである。中学生の視点から地元の運動会を支え、将来の田原の為に活躍できるようになるきっかけになればと思う。

上記の運動会の他には、各自治会ごとで親睦を図りながら対抗する競技として、ソフトボール大会、ソフトバレーボール大会、インディアカ大会等がある。これらの競技も選手選出に苦勞する。また選手が年々固定化する傾向にあり、新しい人達の参入が課題である。

4 東部地区体育委員会の主催の球技大会については、御厨、西貝塚、南御厨、田原の各自治会から選抜された上位2チームで東部地区大会が行われる。例年7月の下旬頃に実施し、東部地区の皆さんとの親睦を図っている。なお、グラウンドゴルフ大会は、別の日に開催している。

東部の大会は、年度ごとに当番を決めて実施している。

5 スポーツクラブ田原について

七夕豪雨や長嶋茂雄が現役を引退した、1974年（昭和49年）に、田原サッカークラブは産声を上げた。そして、翌50年田原サッカークラブが正式に発足した。その後平成3年に、幼稚園児からシニアまでの活動を対象に、田原フットボールクラブを結成。監督やコーチ、父母の会などの着実な努力が実り。平成8年に、社会体育優良団体として文部大臣賞を受賞した。

サッカークラブでの活動は、家庭で教えられない心身の鍛錬、真の友情づくり、スポーツの楽しさをも体験できる。ここで育った初期の少年達は、すでに40代になり、社会人として立派に活躍している。

その後、平成19年には、総合型地域スポーツクラブたはらを設立し、翌年NPO法人化した。平成30年現在、所属は、幼稚園児が27名、ジュニア（1年～6年）が116名。フットサル（社会人）が16名と大所帯になってきている。



6 体育館を活用しての同好会や各種スポーツ

田原交流センターの体育館は、太田川を越えた旧田原小学校の跡地にある。少し離れているので不便さはあるが、地区の皆さんは計画的に活動し、良い汗をかいている。

ちなみに、定期的に活動している団体は、田原バドミントンクラブ、田原チューリップ組、錬武会（剣道）、デポルターレ、明団インディアカ、三ヶ野スポーツ同好会、八大体育部、磐田ひまわり会等である。